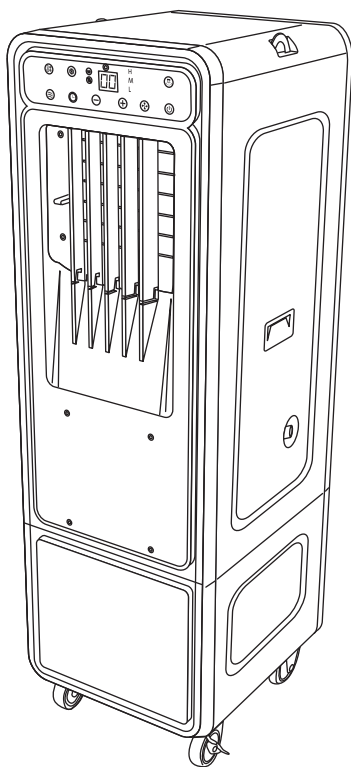


ハイブリッドクーラー FREEZA HYBC-30



目次

お客様へ	1
設計上の標準使用期間	1
安全上のご注意	2
保守上のご注意	3
各部名称	4
入力電源	4
設置方法	5
使用方法	6
操作方法	8
お手入れと保管	11
こんなときは	13
仕様	14
廃棄について	巻末
アフターサービスと保証	巻末

このたびは、日動工業の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

お客様へ

本製品を安全にご使用いただくために記載の内容を必ずお守りください。

ご使用になる前に

本製品は、周囲の温度が25℃以上45℃以下の環境でお使いください。
25℃未満でご使用になられると、冷風が結露し、ゴミの詰まり・破損・故障の原因になります。

電源のご注意

〈電圧降下による機器の故障を防ぐため、以下の内容にご注意ください〉

電源は、単独のコンセントから直接お取りください。また、使用されるコンセントから配電盤ブレーカとの間に大型の電気機器(電気を多く消費する機器)が接続されていますと、電圧降下が起こりやすくなり本製品の故障の原因になります。本製品をご使用になる前に、同一の電源から本製品以外の電気機器が接続されていないことを確認し、電圧降下が起こらない状態でご使用ください。また、延長コードを使用される場合は、上記の内容をご確認いただいたうえで、延長コード8m以内では、電線の公称断面積2.0mm以上をご使用ください。

※8m以上の延長コードを使用される場合は、P.4「入力電源」の表を参照してください。

また、より安全に使用するため電気工事資格者に相談をしていただき適切な延長コードをご使用ください。

フィルターのお手入れについて

フィルターの清掃はこまめに行ってください。フィルターが汚れていると本体内部が結露し、故障の原因になります。フィルターをはずしたまま使用しないでください。

火災・感電・ショートを防ぐために

異常・故障時は、すぐに使用を中止する。発煙・発火・感電の原因になります。

下記の場合、すぐに使用を中止し、主電源を切ってから、お買い上げの販売店へ点検・修理を依頼してください。



- スイッチを入れても、ときどき作動しないことがある。
- 本体が変形したり異常に熱い。
- 使用中ときどき止まる。
- 電源が破損している。
- 使用中に異常な音がする。
- こげくさい“におい”などの異臭がする。

設計上の標準使用期間

■経年劣化に係る安全上の表示について

- 運転時間や温度・湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償の保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

※「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

■標準的な使用条件

日本工業規格 JIS C 9921-3 による

環境条件	電圧	単相100V	機器の定格による
	周波数	50/60Hz	
環境条件	温度	35℃(乾球温度)	水平で安定した場所
	湿度	相対湿度60%	
想定時間など	設置条件	標準設置(床置き)	水平で安定した場所
	1日運転時間	9時間/日	
	1日運転回数	5回/日	
	1年間の運転日数	112日/年	

※設置状況や環境・使用頻度が上記条件と異なる場合、または本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で、発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。



注意

【設計上の標準使用期間】

5年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。



安全上のご注意



ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく使用してください。

使用者および周囲の方への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●取扱いを誤った場合に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 警告	取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
 注意	取扱いを誤った場合に、人が軽傷を負うおそれ、あるいは物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

 禁止	してはいけないこと。
 強制	しなければならないこと。

 警告	
<p>絶対に改造および記載事項以外の分解はしない。修理などのご依頼はお買い上げの販売店へご相談ください。故障・火災・感電・ケガの原因になります。</p> 	<p> 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない。感電の原因になります。</p> 
<p>●火気に近づけない。本体や電源コードの変形による故障・火災の原因になります。 ●ストーブなど燃焼器具に向けて使用しない。火災の原因になります。</p> 	<p> 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料など引火性のものや化学物質など爆発性のものの近くで使用しない。爆発・火災の原因になります。</p> 
<p> 本体や電源コード・プラグは絶対に水洗いしない。感電・故障の原因になります。</p> 	<p> 傾斜状態で運転しない。転倒などによる事故の原因になります。</p> 
<p> アルミニウム・マグネシウム・亜鉛・チタンなどの爆発性粉塵、およびガス蒸気の近くや雰囲気で使用しない。爆発・火災の原因になります。</p> 	<p> 踏み台にしたり、物を載せない。故障・ケガの原因になります。</p> 
<p> 人体に有害な粉塵が存在する場所では使用しない。有害な浮遊粉塵が拡散され健康を害するおそれがあります。</p> 	<p> 運転中、ダクトやファンに指や頭を近づけない。髪の毛や衣類を巻き込みケガの原因になります。</p> 
<p> ●一般の屋内でも、硫黄成分や塩素雰囲気にさらされるなど、化学物質が存在する場所では使用しない。(硫黄成分：一部の食品や薬品、自動車の排気ガスにも含有)(塩素雰囲気：プール施設など)本製品に悪影響をおよぼし故障・破壊・火災の原因になります。 ●トルエン・ヘキサン・アセトンなど有機溶剤が存在する場所では、使用および保管しない。有機溶剤は樹脂や金属を侵し、腐食・故障・火災の原因になります。</p> 	
<p> 清掃時や使用しない時は、必ず電源プラグを抜く。火災・感電の原因になります。</p> 	<p> 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。たこ足配線などで、他の接続機器と併用すると火災・感電の原因になります。</p> 
<p> 入力電源は必ず、単相交流100Vを使用する。指定外の電源で使用すると、故障・火災のおそれがあります。</p> 	<p> 水平かつ安全な場所で使用する。※キャスターのストッパーは、必ずかけてください。</p> 
<p> 電源プラグは定期的に乾いた布などで清掃する。ホコリなどが溜まると、湿気などで絶縁不良となりショートや火災の原因になります。</p> 	

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

<p>電源プラグは、必ずプラグを持って確実に抜差しする。 (コードを引張らない) 断線による故障・火災・感電の原因になります。</p> 	<p>屋外や屋内の水のかかる場所では使用しない。 感電・故障の原因になります。</p> 
<p>強い振動や衝撃を与えない。 故障の原因になります。</p> 	<p>コードやプラグを破損しない。 また、傷んだまま使用しない。 火災・感電の原因になります。</p> 
<p>冷風を長時間、体にあてない。 体調が悪化したり、 健康を害する原因になります。</p> 	<p>吹出口や排熱口、吸気口を ふさいだ状態で運転しない。 故障・火災の原因になります。</p> 
<p>排出されたドレン水や結露した水を 飲用しない。</p> 	<p>油分や薬品が浮遊する場所、高周波 の発生する雰囲気では使用しない。 内部や羽などが劣化し、正常に動作 しなくなったり、故障や破損の原因に なります。</p> 
<p>換気のできない、締め切った場所では使用しない。 排熱口から温風が出るため、室内の温度が上がります。</p>	<p>本製品の近くに濡れてはいけないものを置かない。 家財などが濡れてしまう原因になります。</p>
<p>船舶や車両等の空調として使用しない。 故障の原因になります。</p>	<p>アース線は必ず接続する。 接続されていないと故障・感電の原因になります。</p>
<p>異常や故障が発生した際は、直ちに電源プラグを抜く。 火災・感電のおそれがあります。</p>	<p>入力電線や延長コードは、必ず、伸ばした状態で 使用する。巻いたままや束ねた状態で使用すると 電線が発熱し劣化や火災の原因になります。</p>
<p>電気工事は必ず工事店など、 電気の専門家(有資格者)の方が行う。 誤った電気工事は火災・感電の原因になります。 資格のない人の配線工事は法律で 禁止されています。</p>	<p>荷重や重い荷物などでコードを踏まない。 ショートするおそれがあります。踏まれる場所に 設置される場合は、コードプロテクターなどを使用し、 コードを保護してください。</p>
<p>運転中に無人になる、またはその場から 離れる場合は必ず、電源を切ってプラグを抜く。</p>	<p>使用環境温度の範囲内(25℃~45℃以内)で使用する。 感電・火災・故障の原因になります。</p>

保守上のご注意

※器具の点検・清掃時には安全上のご注意を再度ご確認ください。

- 器具の清掃について…汚れを落とす場合は、中性の洗剤を浸した柔らかい布をよくしぼって拭取り、洗剤が器具に残らないように乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発性のものおよび酸性・アルカリ性の洗剤などで拭いたり、直接殺虫剤をかけたりしないでください。変質による器具の破損や変色の原因になります。
- 保守、点検、部品交換などの際は、必ず電源プラグを抜いて行ってください。
- ネジなどのゆるみがないか確認し、ゆるみがある場合は締め直してください。
- 本機は、お子様の手の届かない所に保管し、湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光の当たる所は避けてください。
- 安全点検について……当社HPに安全点検項目などを掲載しておりますので、ご活用ください。

<https://www.nichido-ind.co.jp/support/check/>

検索 日動チェックシート

各部名称

■本体

〈前面〉

操作パネル

吹出口

吊下げ金具

〈背面〉

背面吸気口

ストッパー

タンク

排水口

取っ手

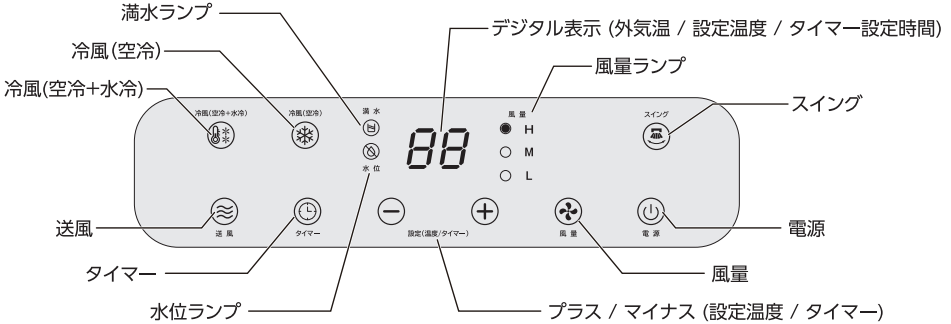
給水口

キャスター
(前輪ストッパー付)

排熱口 / 電線収納カバー

側面吸気口

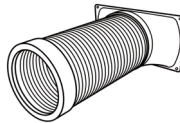
■操作パネル



※詳しい操作は「P.8 操作方法」をご確認ください。

■付属品

- 安全のしおり…1部
- 自動給水ジョイント…1個
- 排熱ダクト…1個
- 排熱ダクト固定用ビス…4個



入力電源

■本体と電源の接続

- 本製品の電源は、必ず単独の専用コンセントに接続してください。
たこ足配線など他の機器との併用は電気容量の不足や電圧降下などにより故障やトラブルの原因になります。
- やむをえず延長コードを使用する場合は、右表に従ってください。
電線が細かったり長すぎたりしますと、電圧降下により本製品の停止・故障の原因になります。

延長コードの長さ	電線の公称断面積
8m以内	2.0mm ²
14m以内	3.5mm ²
22m以内	5.5mm ²

〈漏電しゃ断器と接地(アース)義務〉

労働安全衛生規則第333条・第334条および電気設備の技術基準により、漏電しゃ断器の取付けと接地が義務づけられています。『漏電しゃ断器は、15A・30mA 動作時間0.1sec以内のものを使用してください。』

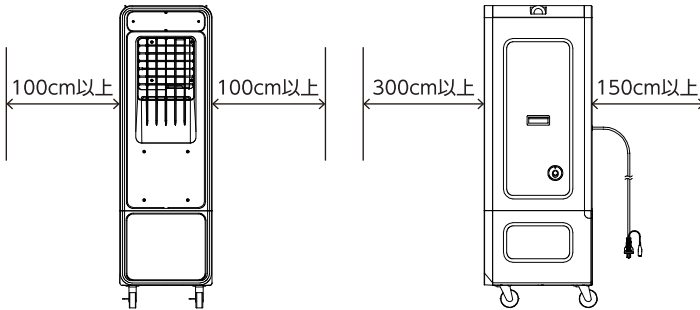
設置方法

■本体の設置

〈ご注意〉

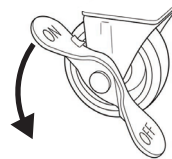
- 雨や雪のあたる場所および水気のある環境では使用できません。
- アルミニウム・マグネシウム・亜鉛・チタンなどの爆発性粉塵、およびガス蒸気の近くや雰囲気で使用しないでください。爆発・火災の原因になります。
- 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料など引火性のものや化学物質など爆発性のものの近くで使用しないでください。爆発・火災の原因になります。
- 塩害や塩酸・硫酸など金属を腐食させるガスや蒸気が存在する雰囲気に設置しないでください。腐食によりガス漏れや故障および性能低下の原因になります。
- 排熱口から熱風が出ますので、樹脂製など高温で変形や変質するものには向けないでください。

本製品は、左右側面100cm以上・背面150cm以上・吹出口300cm以上の空間を設けてください。



■キャスターSTOPパー

移動時以外では、すべてのキャスターSTOPパーをONにして本製品が動かないようにしてください。

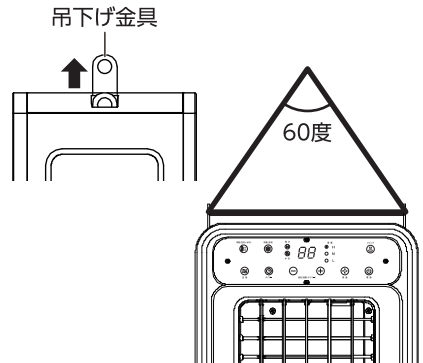


■クレーンで吊下げ・移動

天面2カ所の吊下げ金具を引っ張り出し、ロープなどを通してクレーンで吊下げてください。
推奨吊り角度は60度です。

〈ご注意〉

- 吊下げる前に、タンクがSTOPパーで固定されているか確認してください。
- クレーンなどの操作は、免許取得者など有資格者が行ってください。
※労働安全衛生法に規定されています。
- 吊下げ金具の片側だけで吊下げないでください。
落下や変形の原因になります。
- 吊下げた本製品の下に入らないでください。
事故やケガなどの原因になります。
- 吊下げた際に、しゃくる動作はしないでください。
落下などの原因になります。



使用方法

■タンクの給水【冷風(水冷+空冷)で使用する場合のみ】

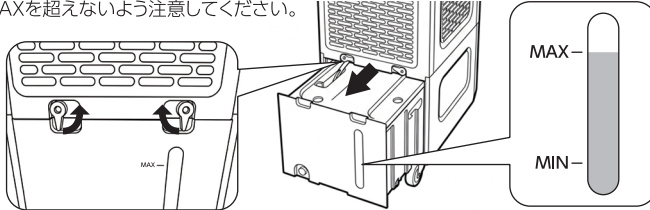
〈ご注意〉

- 給水は、必ず水道水を使用してください。工業用水や地下水などを使用すると、タンクやエレメント内で藻や雑菌が繁殖しやすく、不良・悪臭・故障の原因になります。
- 水による感電に注意してください。
- 給水後、本体を移動させる場合は、段差などに注意してゆっくり移動させてください。内部の貯水タンクから水がはねて、水漏れの原因になります。

図の手順で水位インジケータを確認しながらタンクへ給水を行ってください。

※MAXを超えないよう注意してください。

〈手動給水〉



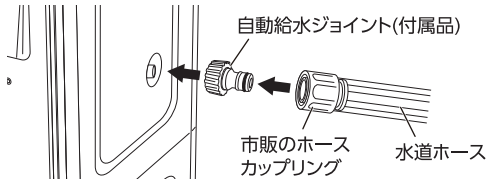
①ストッパーを解除する

②タンクを引き出して給水を行う。

※自動給水は電磁弁により制御されています。本体が電源に接続されていない場合は自動給水が行われません。ご使用の際は必ず本体を電源に接続してください。

本体側面の給水口キャップをはずして、給水口に給水ジョイントとホースを繋げてください。一定水量まで溜まると自動で給水を停止します。

〈自動給水〉



※使用後、または使用しない場合は、給水口キャップを閉めてください。

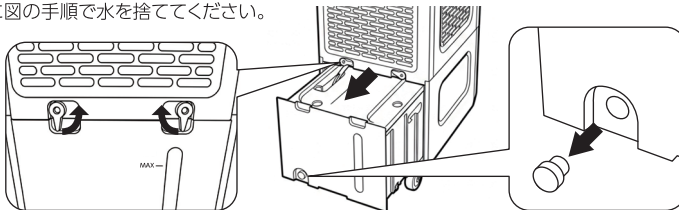
■タンクの排水

〈ご注意〉

- ドレン水の量は、外気温・湿度などや熱交換器の汚れなどで大きく変わります。特に梅雨時期など湿度の高い時期は水量が増えますのでご注意ください。

給水、もしくは除湿された水は本製品に備え付けのタンクに溜まります。

定期的に図の手順で水を捨ててください。



①ストッパーを解除する

②タンクを引き出す

③キャップを抜く

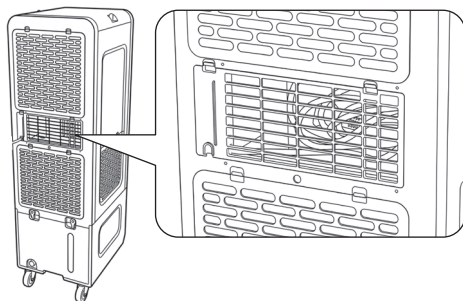
※タンクを引き出す際は、必ずタンク内の吸水ポンプをはずしてください。

※排水後は、必ず排水口キャップを閉めて、タンクをストッパーでロックしてください。

使用方法 (つづき)

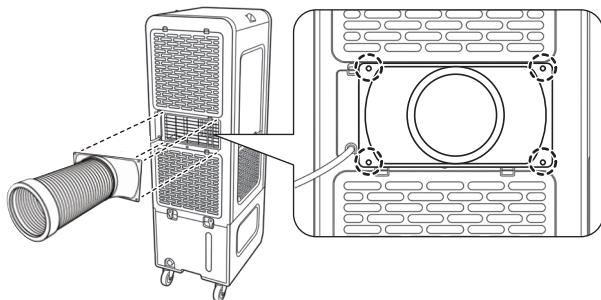
■電線収納カバー

本製品背面の電線収納カバーをはずして、排熱口内に電線を収納可能です。
収納後はカバーを閉じてください。



■排熱ダクトの取付け


本製品背面に、付属の排熱ダクトを取付可能です。
排熱ダクトを電線収納カバー上に重ねて、付属の排熱ダクト固定ビス×4で固定してください。



※排熱ダクトを取付けることで、電線収納カバーが使用できなくなります。
ご使用用途やお好みに合わせて、取付けを行ってください。

操作方法

■起動

本製品を電源へ接続すると、操作パネルの『 電源』が点滅します。






■電源ON/OFF




『 電源』をタッチすると  が点灯し、運転が開始されます。再度タッチすると停止します。



■モード切替え

・・ のいずれかをタッチすると点灯し、モードが切替ります。




モード	動作
 冷風(空冷+水冷)	冷風が出ます。 空冷+水冷の冷却機能により排熱温度を抑制します。
 冷風(空冷)	冷風が出ます。 空冷のみの冷却機能のため通常の排熱温度になります。
 送風	送風が出ます。

※冷風運転開始直後、または冷風運転中にコンプレッサーが停止した場合、冷風が出るまで約3分かかります。

満水




〈満水ランプ点滅時〉

タンクの水位が一定量を超えると、『 満水ランプ』が点滅し、冷風運転が使用できません。また、冷風運転中は自動的に送風運転に切替ります。P.6「使用方法」の『タンク排水』を参照して、排水してください。



水位

〈水位ランプ点滅時〉

タンクの水位がMIN以下になると、『 水位ランプ』が点滅し、【冷風(空冷+水冷)】が使用できません。また、【冷風(空冷+水冷)】運転中は自動的に【冷風(空冷)】運転に切替ります。【冷風(空冷+水冷)】で使用する場合は、P.6「使用方法」の『タンク給水』を参照して、給水してください。

操作方法 (つづき)

■外気温表示

設定温度・タイマー操作時以外は
内蔵センサーで測定された外気温が常時表示されます。



■設定温度

冷風運転で温度設定が可能です。
⊖ ⊕ をタッチすると、
設定温度が点滅表示されて「1℃」毎に変更できます。
数秒後に外気温に切り替ります。

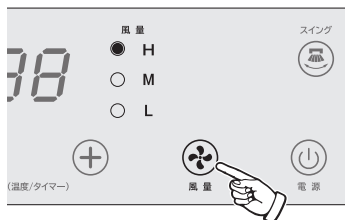
〈設定温度範囲〉 16℃～31℃

※設定温度は、空間の目標温度です。
本体から吹出す冷風の温度ではありません。



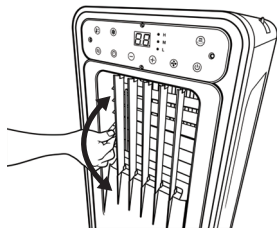
■風量設定

『風量』をタッチする毎に、「L(弱) → M(中) → H(強)」の順で
「風量ランプ」が点灯し、風量が切替ります。
お好みの風量に設定してください。



■スイング







- 『スイング』をタッチすると、スイングランプが点灯し、自動スイングが作動します。
自動スイングは左右のみです。再度タッチすると停止します。
- 上下スイングは、ルーバーのつまみを持って、手動で調整してください。
※自動スイング動作中に上下スイングの調整を行わないでください。
ケガや故障の原因になります。





操作方法 (つづき)

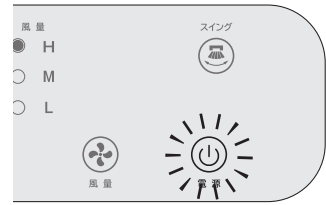
■ONタイマー設定

本製品が電源に接続されている状態でONタイマーを設定することで設定時間経過後に自動的に運転を開始します。

- ①本製品を電源へ接続すると、操作パネルの『 電源』が点滅します。
- ②『 タイマー』をタッチすると、 と設定時間が点滅します。
- ③  点滅中に   をタッチすると設定時間を「1時間」毎に変更できます。






〈ONタイマー設定範囲〉1時間～24時間

- ④数秒後に  が点灯して、ONタイマーが設定されます。
- ※  点滅中に再度タッチすると、ONタイマーが解除されます。





■OFFタイマー設定

運転中にOFFタイマーを設定することで設定時間経過後に自動的に運転を停止します。

- ①運転中に『 タイマー』をタッチすると、 と設定時間が点滅します。
- ②  点滅中に   をタッチすると設定時間を「1時間」毎に変更できます。

〈OFFタイマー設定範囲〉1時間～24時間

- ③数秒後に  が点灯して、OFFタイマーが設定されます。
- ※  点滅中に再度タッチすると、OFFタイマーが解除されます。



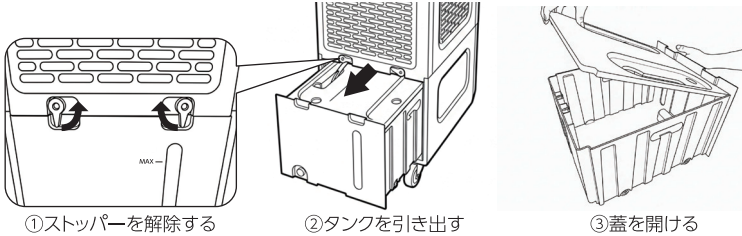
お手入れと保管

■製品のお手入れ

- すべてのネジに緩みがないことを確認してください。緩んでいる場合は締めてください。
- 本体や電線にダメージや傷がないことを確認してください。
大きな損傷や断線などがある場合は使用せず、お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

■タンクの清掃

※タンク清掃前に必ず、タンク内の水を捨ててください。
図の手順でタンクを引き出し、蓋をはずします。



中性の洗剤を浸した柔らかい布をよくしぼってタンク内部の汚れを拭取り、洗剤が残らないように水道水で洗い流してください。
清掃後は逆の手順で取付けてください。

〈ご注意〉

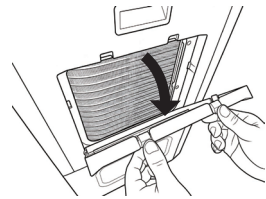
シンナーやベンジンなどの揮発性のものおよび酸・アルカリ性の洗剤などで拭いたり直接殺虫剤や水をかけたりしないでください。塗装面を傷めたり故障の原因になります。

■フィルターの清掃

フィルターの清掃はこまめに行ってください。
フィルターが汚れていると内部機器が結露し、故障の原因になります。

フィルターは背面2ヶ所・側面1ヶ所にあります。

- ①フィルター上部の留め具を押しながら手前へ引いてフィルターを取り出します。
- ②ホコリやゴミを掃除機などで取り除き水洗いしてから乾かしてください。
清掃後は逆の手順で取付けてください。



■熱交換器の清掃

熱交換器に付着したゴミや汚れをシャワー程度の水で洗い流す。もしくは毛先の柔らかいブラシを使ってフィンに沿ってやさしく動かしながら落とす。

〈ご注意〉

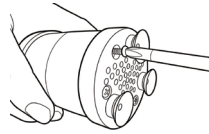
熱交換器のフィンが柔らかく、強い力を加えると変形してしまいます。
高圧洗浄機や、毛先の硬いブラシなどは使用しないでください。変形による故障の原因になります。

お手入れと保管 (つづき)

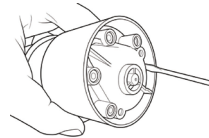
■吸水ポンプの清掃

水を吸い上げなくなった場合に、タンク内に設置されている吸水ポンプを、図の手順で分解・清掃してください。

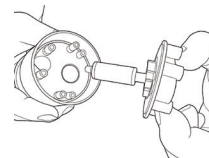
- ① 吸水ポンプ底面のプラスビス4ヶ所をドライバーではずし、カバーを取りはずしてください。



- ② マイナスドライバーなどでインペラーカバーを引き抜いてください。



- ③ インペラーやカバー、内部に付着している汚れを水道水で洗い流し、きれいに取り除いてください。



※吸水ポンプ内にはゴムパッキンが入っています。無くさないよう注意してください。

※清掃後は、逆の手順で組み立てて、元の位置に確実に固定してください。

■本体の清掃

乾いた布で拭くか、中性の洗剤を浸した柔らかい布をよくしぼって拭取り、洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。

〈注意〉

※シンナーやベンジンなどの揮発性のものおよび酸・アルカリ性の洗剤などで拭いたり、直接殺虫剤や水をかけたりしないでください。塗装面を傷めたり故障の原因になります。

■長期間使用しない時


- フィルターと本体を清掃し、乾燥させてホコリなどが溜まらないようにしてください。
- 1時間ほど送風運転を行い、本体内を完全に乾燥させてください。
- タンクの水は捨てて、タンク内部を完全に乾燥させてください。
- 本体にホコリが溜まらないようにカバーなどをかけてください。
- 必ず水平で安定した場所に保管してください。
- 湿気が少なく、直射日光が当たらない場所に保管してください。

〈注意〉

※本製品を横倒しで保管しないでください。再始動のとき、内部機器故障の原因になります。

こんなときは

必ず、取扱説明書の掲載内容を先にお読みください。

状 態	可能性のある原因	対 処 法
運転しない。	内部基板のヒューズが切れている。	お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
	漏電しゃ断器が落ちていませんか？	原因を排除して、漏電しゃ断器を復帰してください。
	保護機能が作動している。 使用環境温度の範囲をこえている。	周囲の温度を確認してください。 使用環境温度範囲を確認し 原因を排除してから、再始動してください。
	内部機器の故障。	速やかに使用を中止し、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。
冷風がでない。	電圧降下や過電流による保護(オーバードリルレー)が作動している。	一度電源を切り3分以上待ってから、再度電源を入れ直してください。
	吹出口や本体の通風部が障害物などで塞がれている。	障害物を取除いてください。
	熱交換器や内部の配管が壊れている。	速やかに使用を中止し、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。
	使用環境温度(45℃)を超えての環境になっている。	45℃以下で使用してください。
	フィルターが汚れ、目詰まりしている。	フィルターを清掃してください。
	電圧が低すぎる。	原因を取除いてから、再始動してください。
	コンプレッサーの故障。	お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
	満水センサーが働いている。	水を捨ててください。
水が漏れている。	タンクが満水状態。	水を捨ててください。
	タンクが正しくセットされていない。	タンクを正しくセットしてください。
	フィルターの汚れによる本体内部の結露。	フィルターを清掃してください。
	傾いた場所で使用。	水平で安定した場所で使用してください。
霜がつく。	周囲の温度が25℃未満になっている。	使用環境温度範囲を確認し 原因を取除いてから、再始動してください。
	フィルターが汚れている。	フィルターを清掃してください。
	不安定な場所で使用。	水平で安定した場所で使用してください。
異音・異臭・振動。	キャストーストッパーがロックされていない。	キャストーストッパーをロックしてください。
	内部から異音がする。	速やかに使用を中止し、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。
	焼けた臭いなど異臭がする。	
上記の対処をしても改善されない場合は、使用を中止しお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。		
 修理技術者以外の方が、本製品を分解したり、修理や改造は絶対にしないでください。		

仕様

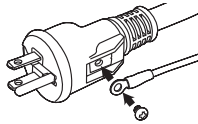
型 式	HYBC-30	
タイプ	屋内用	
定格電圧	単相100V	
定格周波数	50Hz	60Hz
入力電圧範囲	90~110V	
始動電流	50.3A	48.4A
定格電流(強)	(水冷)9.60A (空冷)10.20A	(水冷)9.02A (空冷)10.10A
消費電力(強)	(空冷)810W (水冷)880W	(空冷)895W (水冷)1005W
冷房能力	(空冷)2.7kW (水冷)2.3kW	(空冷)3.1kW (水冷)3.0kW
力率	(空冷)84% (水冷)86%	(空冷)99% (水冷)99%
圧縮機	全密閉型ロータリー	
圧縮機定格出力	0.7kW	0.73kW
騒音レベル	67dB	
冷媒種類	R410A (GWP値:2090)	
冷媒封入量	615g	
使用環境温度	25℃ ~ 45℃	
ドレン方式	タンク(27ℓ)	
保護機能	オーバードリレー / サーマルプロテクター	
入力電線	VCTF2.0mm ² ×3心×約2.8m(リペアボッキンプラグ)	
サイズ	W380×D445×H1248mm	
質 量	約42kg	

【リペアボッキンプラグについて】

断線したアース線の取替えが簡単にできます。

リペアボッキンプラグ用アースクリップ

型式：EC-RE175L



廃棄について

本製品は、フロンガスが使用されており、フロン排出抑制法における第一種特定製品として扱われます。
本製品を廃棄するときは、下記にご注意ください。

- 本製品は特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用製品ではありません。
- 廃棄する場合は、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者に委託し、適切に処理してください。
- 廃棄についてご不明な点は、各地方自治体の窓口に確認をお願いいたします。

アフターサービスと保証

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を必ず使用してください。純正部品以外を使用すると、故障や事故の原因になるばかりでなく、クレームおよび修理のご依頼などは、一切お受けできなくなり、すべての保証の対象から外れる場合もございます。(他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。)

〈修理について〉

修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店にお申し付けください。

- 製品改良のため、仕様などを予告なく変更することがあります。

〈発売元〉  **日動工業株式会社**
NICHIDO IND.CO.,LTD

□本	社	〒572-0076	大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-2-2	TEL.072(803)6905(代)	FAX.072(803)6908
□札幌営業所		〒003-0822	札幌市白石区菊水元町二条2-3-1	TEL.011(871)0577(代)	FAX.011(871)0579
□東京営業所		〒135-0016	東京都江東区東陽4-8-14	TEL.03(5683)4010(代)	FAX.03(5683)4021
□名古屋営業所		〒454-0848	名古屋市中川区松ノ木町1-3-2-2	TEL.052(351)3666(代)	FAX.052(352)7558
□大阪営業所		〒572-0076	大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-2-2	TEL.072(803)6905(代)	FAX.072(803)6908
□福岡営業所		〒812-0016	福岡市博多区博多駅南4-17-3-2	TEL.092(474)7955(代)	FAX.092(474)6329